

管理番号	文書名
HTK-8260	環境目標

2024年度環境経営計画の目標及び結果と2025年度環境経営計画

2024

2025年5月14日 作成
作成者 高橋 悠輝

代表者からの言葉

目標に対して各項目が達成できているため、今後、費用面で削減効果が見えるように工夫すること。
従業員から改善提案をもらい、目標達成に生かせるようなシステムを構築すること。

評価：◎目標達成(目標値を達成) ○ ほぼ達成(削減はしたが、目標値には至っていない) ×未達成(全くの未達成)

取組項目	環境活動計画	管理方法	環境目標				目標達成結果				達成率(%)			2025年度設定目標 2024年度の実績値より2%削減				次年度以降目標					
			2024年度(2023年度実績値より2%削減)				2025年3月末時				総量	一人当たり	評価	2025年度設定目標 2024年度の実績値より2%削減				2026年度	2027年度	2028年度			
kg-CO2	不使用時、不要場所、昼休み時間の消灯、事務室空調温度設定 冷房 28℃・暖房20℃ 省エネタイプ LED蛍光灯の導入	安全衛生委員(月に一回)事務局の報告により確認する。第2事業部の電気量は測定不能のため、第5事業部と同時に管理する。	総量	396,218	kg	4,464	kg/人	410,588	kg	4,549	kg/人	3.6%	1.9%	×	総量	402,375.9	kg	4,458.5	kg/人	2025年度の実績値より2%削減	2026年度の実績値より2%削減	2027年度の実績値より2%削減	
			第1	52,978	kg	2,126	kg/人	57,850	kg	2,369	kg/人	9.2%	11.4%	×	56,692.6	kg	2,321.9	kg/人					
			第5	343,240	kg	5,377	kg/人	352,738	kg	5,358	kg/人	2.8%	-0.4%	×	345,683.3	kg	5,250.9	kg/人					
			総量	773,979	kw/h	8,721	kw/h/人	800,671	kw/h	8,872	kw/h/人	3.4%	1.7%	×	784,657.6	kw/h	8,694.3	kw/h/人					
			第1	104,955	kw/h	4,212	kw/h/人	107,026	kw/h	4,386	kw/h/人	2.0%	4.1%	×	104,885.5	kw/h	4,298.6	kw/h/人					
			第5	669,024	kw/h	12,400	kw/h/人	693,645	kw/h	12,623	kw/h/人	3.7%	1.8%	×	679,772.1	kw/h	12,370.3	kw/h/人					
廃棄物削減	分別処理徹底、特に可燃ごみ中の紙の分別を行う。(区分は可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ、段ボール) 人員あたりの数値も算出	月別、工場部門ごとに種類別重量測定、測定者が確認、不具合時は用紙にコメント記入、各部門では安全衛生委員	総量	5.54	t	0.06	t/人	9.88	t	0.11	kg/人	78.5%	78.5%	×	総量	9.69	t	0.11	t/人	2025年度の実績値より2%削減	2026年度の実績値より2%削減	2027年度の実績値より2%削減	
			第1	1.01	t	0.04	t/人	1.01	t	0.04	kg/人	0.1%	0.1%	○	0.99	t	0.04	t/人					
			第2	0.20	t	0.02	t/人	0.17	t	0.02	kg/人	-11.2%	-11.2%	◎	0.17	t	0.02	t/人					
			第5	4.33	t	0.08	t/人	8.70	t	0.16	kg/人	100.8%	100.8%	×	8.53	t	0.16	t/人					
			総量	3,243	kg	4,365	kg	34.6%	×	4,278	kg												
梱包材の環境への低負荷化	梱包材使用量削減、社内輸送の省力化推進	発注担当：発泡スチロールのクッション発注禁止	第1	3,243	kg	第1	4,365	kg	34.6%	×	第1	4,278	kg										
節水	洗面所、トイレ等に節水の張り紙を行う。	総務部節水案実施	総量	1539.6	t	一人当たり	17.35	t/人	総量	1,316	t	一人当たり	14.83	t/人	-14.5%	-14.5%	◎	総量	1,290	t	一人当たり	14.53	t/人
金属廃棄物リサイクル	廃棄製品の分解で有価物リサイクルを高める、分別処理徹底	廃棄者が種類別分別の確認し、不具合は工程にフィードバック	24年度も製品の集中解体処理を2回実施				・9月末と3月末に実施				◎ 25年度も製品の集中解体処理を2回実施				(第1事)製品の集中解体処理を2回実施する。								

	計画			環境目標			目標達成結果			評価	2025年度設定目標 2024年度の実績値より2%削減		次年度以降目標		
	取組項目	施策	管理方法	2024年度 (2023年度実績値より2%削減)			2025年3月末時				2026年度	2027年度	2028年度		
佐 賀 事 業 所	化学物質管理	年間購入量の把握 小分け容器には物質名称を示す 危険物がある場合は、管理表で使用量管理	年間購入量の管理 チェックリストによる 使用量管理 SDSによる物質 情報管理	第1は残量管理 第5は昨年度の購入量を目標値とする。	第1 事業部 新規物質の購入が有る場合は事務局に報告の上、管理 第5 事業部 塩化メチレン 目標 0% 総量 1000l		第1 事業部は溶剤として年間IPAを14kg購入 極少量のアセトン管理表にて 管理2024年度において新規薬品の購入はなし		◎	新規物質の購入が有る場合は事務局に報告の上、管理 第5 事業部 塩化メチレン 目標 0% 総量 1000l	前年度より0%				
	紙類使用削減	両面使用、縮小使用、印刷レビューで印刷ミス削減、情報交換の電子化、管理方法、再生紙	各部門コピー用紙 購入量把握	前年度より2%削減	第1 39,690 枚 第2 22,540 枚 第5 85,750 枚		30,000 枚 11,500 枚 90,000 枚	-24.4% -49.0% 5.0%	◎ × ◎	29,400 枚 11,270 枚 88,200 枚	2025年度の実績値より2%削減	2026年度の実績値より2%削減	2027年度の実績値より2%削減		
	製品のRoHS適合化	RoHS2適合部品の使用、鉛フリー半田の使用	グリーン調達の仕事みによる監視	標準品についてはRoHS2準拠とする。	出荷品100%RoHS2適合		・カタログ製品は100%RoHS1適合している。			◎	出荷品100%RoHS2適合		出荷品100%RoHS 適合		
	低環境負荷製品の設計	消費電力、長寿命化、梱包の簡素化、筐体類に金属使用で再資源化率向上を図る、再資源化可能な情報提供	企画書、図面、カタログ資料、取説		新製品設計時実施 環境対応モデル2件 設計計画表を作成 第5 事業部 環境低負荷製品の設計を目指す。 4 半期毎に設計数の集計		第1 事業部 年間設計数 2件 第5 事業部 年間設計数 12件(16件中)			○	新製品設計時実施 第1 事業部 環境対応モデル2件 第5 事業部 環境低負荷製品の設計を目指す		新製品設計時実施 第1 事業部 環境対応モデル2件 第5 事業部 環境低負荷製品の設計を目指す		
	内部の課題に対する取組 ①各部署での(業務内容)仕事の効率を上げる。	①作業工程の改善を図ることにより、使用する資源の削減を図る。	①作業手順書、QC工程表		第5 事業部 洗浄の工程を見直すことにより塩化メチレンの購入量削減を目指す。					-	洗浄の工程を見直すことにより塩化メチレンの購入量削減を目指す。		内部課題の抽出内容により、目標を設定していく。		
	製品含有化学物質の不適合	①関連する環境法規制を監視することにより含有物質の監視を行う。 ②関連する環境法規制を全体に周知することにより設計、製造の段階で禁止物質の混入を防ぐ。	年2回の法規制チェックで環境法規制を確認	永年目標を0件とする。	0 件		0 件			-	0 件を永遠目標とする。		0 件を永遠目標とする。		